



寒河江・西村山、
山形の元気のために

山形県
議会議員

槙津博士

発行日：令和5年1月
第29号

県政調査活動報告書

[発行] 槙津博士事務所 [発行責任者] 槙津博士 [事務所] 寒河江市元町三丁目3-3 大和ビル2階 [電話] 0237-84-7117 [FAX] 84-7118 [URL] http://h-umetsu.jp [E-mail] h-umetsu@ic-net.or.jp

- ① 新型コロナウイルス感染者の感染状況の公表について (答弁者 みらい企画創造部長)
- ② 新型コロナウイルス感染症のワクチン接種状況と県民に対する情報発信について (答弁者 健康福祉部長)
- ③ 少子化対策における結婚支援について (答弁者 総務部長)
- ④ 本県におけるスマート農業の普及推進について (答弁者 農林水産部長)
- ⑤ 県と市町村の施策のさらなる連携について (答弁者 健康福祉部長)
- ⑥ SNSを活用した本県の情報発信について (答弁者 環境エネルギー部長)
- ⑦ 県目標に掲げるイノシシの捕獲頭数増加に向けた取組みについて (答弁者 環境エネルギー部長)
- (1) イノシシ管理計画の目標達成に向けた取組みについて (答弁者 環境エネルギー部長)
- (2) 県が目標に掲げるイノシシの捕獲頭数増加について (答弁者 農林水産部長)
- (3) 県が目標に掲げるイノシシの捕獲頭数増加に向けた取組みについて (答弁者 健康福祉部長)
- (4) 県が目標に掲げるイノシシの捕獲頭数増加に向けた取組みについて (答弁者 健康福祉部長)
- (5) 県と市町村の施策のさらなる連携について (答弁者 健康福祉部長)
- (6) SNSを活用した本県の情報発信について (答弁者 環境エネルギー部長)
- (7) 県目標に掲げるイノシシの捕獲頭数増加に向けた取組みについて (答弁者 健康福祉部長)

* 質疑・答弁の内容は紙面の関係上要約させていただきます。



新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が発生してから約3年となります。新型コロナが少しでも早く終息し、コロナ前の日常生活に戻れることを切に願っております。また、昨年12月31日に発生した鶴岡市の土砂崩壊で、残念なことに2名の方が亡くなってしまいました。心から哀悼の意を表しますとともに、避難されている方々にお見舞い申し上げます。近年、ゲリラ豪雨などによる災害が多発しております。安全で安心して暮らせるよう災害に強い県土の構築にしっかりと努めなければならないと強く思っております。そして物価が高騰し、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。原材料などが安定して供給され、物価が安定するよう取り組まなくてはならないと考えております。昨年の12月定例会において、予算特別委員会で次の項目について質問を行いました。

さらなる山形の発展を目指して

【新型コロナウイルス感染者の感染状況の公表について】

政府は、令和3年9月に新型コロナウイルス感染症に係る発生届の対象者を、高齢者等の重症化リスクの高い方に限定しました。しかし、新型コロナウイルス感染者が再び急増し、「感染者が増えているが自分が住む自治体はどうなっているのかが分からない」、「とっても不安だ」などの声が聞こえてきています。そのような中、去る12月6日から「参考値」として市町村別の「発生届出件数」と「陽性者健康フォーラム登録件数」の週間分の合計を、毎週火曜日に県ホームページで公表されることになりました。このたび、市町村別の感染者数に係る「参考値」を公表することとした経緯や考え方について、健康福祉部長にお伺いいたします。

また、公表することにより、医療機関や保健所の負担が増加するのではないかと心配していますが、医療機関や保健所に新たな負担をかけするものとはなっておりません。

県としましては、今後も引き続き県民の皆様への適時適切な情報を提供に努めながら、医療機関や保

(答弁者) 健康福祉部長

新型コロナに係る全数把握の見直しにより、正式な統計値としての市町村別感染者数の集計・公表は不可能となつことから、これに代わり、参考として、保健所管内別の発生届出件数を毎日公表していました。

しかしその後、感染の再拡大もあり、県民の方や報道機関、さらには複数の市町村長や、槙津委員会をはじめとする議員の皆様の中からも、市町村別感染者数の公表を求めるご要望やご意見をいたしました。

このたび、12月6日から市町村別の「発生届出件数」と「陽性者健康フォーラム登録件数」の1週間分の合計を「参考値」として、毎週公表することとしました。

なお、委員お尋ねの保健所や医療機関への負担増につきましては、このたびの市町村別の「参考値」の公表は、保健所やフォーラムセンターから県に報告される既存の情報や資料を基に健康福祉部で集計作業を行っておりますので、保健所や医療機関に新たな負担をかけするものとはなっておりま

令和4年度12月補正予算案(追加提案分)の概要

一般会計 令和4年度12月補正(追加)予算額 375億8,700万円

(令和4年度12月補正後累計予算額 7,750億8,000万円)

*事業の円滑な執行と発注・施工時期の平準化を図るため、繰越明許費を設定(356億8,700万円)

新…令和4年度新規計上事業 拡…既決事業の拡充

補正額

352億9,000万円

1. 政府の補正予算への対応(公共事業等)

(1) 土木公共

- ① 道路(橋りょう等の長寿命化対策工事、地域間の交流・連携強化のための道路改良、通学路の安全確保を図るための歩道整備等)
- ② 河川(最上川の緊急治水対策プロジェクトに基づく河川整備、ダム管理設備の更新等)
- ③ 砂防(土砂災害防止のための砂防えん堤や地すべり防止施設の整備等)
- ④ 都市計画(都市公園の老朽化した設備の改修や道路交通環境・防災機能向上のための街路整備)
- ⑤ 港湾(港湾内の護岸・岸壁の長寿命化対策工事等)

(2) 農林公共

- ① 耕地(生産効率の向上を図るための区画整理・用排水施設整備、防災減災対策の強化に資するため池整備等)
- ② 林務(木材安定供給のための林道整備、土砂流出に備えた治山工事、国直轄地すべり防止事業負担金等)
- ③ 水産(漁港における防波堤の整備、航路・泊地の浚渫、漁港施設の長寿命化を図るための機能保全計画の見直し等)

(3) その他

- ① 基幹水利施設の整備補修
- ② 老朽化した信号灯器のLED化更新

2. 政府の補正予算への対応(公共事業等以外)

【エネルギー・食料品等の価格高騰により厳しい状況にある生活者・事業者への支援】

- 新〇 きのこ生産施設における省エネ設備及び生産資材等の導入への支援(国庫10/10)
 - 〔省エネ設備導入支援: 高効率空調設備やLED照明など省エネ設備の導入を支援(補助率1/2) 2,400万円〕
 - 〔生産資材等導入支援: 高騰する生産資材等の価格上昇分の1/2相当を支援(令和4年度生産量×きのこの種類毎の定額単価) 2,200万円〕

【コロナ禍からの需要回復、地域活性化】

- 新〇 低コストで安定的な原木の供給、木材加工流通施設等の大規模化・高効率化の取組みへの支援(国庫10/10)
 - 〔間伐材生産及び林内路網(森林作業道)整備への支援(定額補助) 1億1,100万円〕
 - 〔高性能林業機械及び木材加工流通施設等における設備導入への支援(補助率1/2) 2,500万円〕

【成長分野における大胆な投資の促進】

- 拡〇 イベント会場等でのマイナンバーカードの出張申請サポート

【包摵社会の実現】

- 新〇 出産・子育て応援交付金の創設
 - (国交付金2/3(市町村直接)+県交付金1/6(今回の補正)+市町村1/6)※県及び市町村負担分は地方交付税措置予定)
 - (本交付金を活用し、市町村は、妊娠時から出産・子育てまでの一貫した伴走型相談支援の充実と経済的支援(妊娠届出時・出生届出時合わせて10万円相当)を実施)

【ウィズコロナ下での感染症対応の強化】

- 拡〇 県立学校における保健衛生用品や換気用備品の購入等

【県民の安全・安心の確保】

- 新〇 靈感商法を含む悪質商法に係る若年者のための消費者教育の実施(チラシや動画の作成による啓発)
- 新〇 送迎バスへの置き去り防止のためのブザー等安全装置の設置(定額18万円×790台)
 - 〔民間施設への設置支援(766台:私立幼稚園(幼稚園認定こども園を含む。)、障害児通所支援事業所) 1億3,800万円〕
 - 〔県立施設のバスへの設置(24台:県立障がい児福祉施設、県立特別支援学校、県立青少年教育施設) 400万円〕

3. ウィズコロナ・ポストコロナへの対応

- 拡〇 「やまがた旅割キャンペーン」の拡充(観光庁補助事業分)

**合計(財源: 国庫支出金 203億1,800万円、分担金及び負担金 17億2,400万円、県債 152億9,800万円、地方交付税 2億4,700万円)
375億8,700万円**

*表示単位未満四捨五入のため、項目ごとの小計及び合計において一致しない場合があります。

引用: 山形県ホームページ「令和4年度12月補正予算案(追加提案分)について」

※この報告書は自然保護のため再生紙を使用しております。
ご意見・要望など何でもお寄せください。
下の二次元コードを読み込むと「山形県議会記録」の画面が表示されます。

〒991-0053
TEL 023-7184-7117
FAX 023-7184-7117
槙津博士事務所
大和ビル2F
寒河江市元町3丁目3-3

新型コロナウイルス感染者が増加し、保健所や医療機関がひっ迫したことから、新型コロナウイルス感染者の全数把握が見直されました。そのようなことから保健所の多くの方から「こんな多く感染しているのに自分の自治体では何名の感染者がいるのか不安だ」という声や、自治体ごとの感染者数が公表されなくなりました。県民の多くの方から「こんなに多く感染しているのに自分の自治体では何名の感染者がいるのか不安だ」という声や、自治体ごとの感染者数が公表されない」という意見が出されています。首長さんは「感染者数が把握できないと、感染対策の注意喚起や対策を取ることができない」という意見が出ていました。そのようなことから保健所や医療機関がひっ迫しないよう、定期的によいので自治体ごとに自治体ごとの感染者数の公表を実施してもらうこととなりました。県内ではすでに20万人以上の方が感染しています。終息を願う日々ながら、皆様には引き続き感染対策を十分に取っていただきたいと思います。

県民の多くの方から「こんなに多く感染しているのに自分の自治体では何名の感染者がいるのか不安だ」という声や、自治体ごとの感染者数が公表されない」という意見が出ていました。そのようなことから保健所の多くの方から「こんなに多く感染しているのに自分の自治体では何名の感染者がいるのか不安だ」という声や、自治体ごとの感染者数が公表されない」という意見が出ていました。首長さんは「感染者数が把握できないと、感染対策の注意喚起や対策を取ことができない」という意見が出ていました。そのようなことから保健所や医療機関がひっ迫しないよう、定期的によいので自治体ごとに自治体ごとの感染者数の公表を実施してもらうこととなりました。県内ではすでに20万人以上の方が感染しています。終息を願う日々ながら、皆様には引き続き感染対策を十分に取っていただきたいと思います。

県民の多くの方から「こんなに多く感染しているのに自分の自治体では何名の感染者がいるのか不安だ」という声や、自治体ごとの感染者数が公表されない」という意見が出ていました。首長さんは「感染者数が把握できないと、感染対策の注意喚起や対策を取ことができない」という意見が出ていました。そのようなことから保健所や医療機関がひっ迫しないよう、定期的によいので自治体ごとに自治体ごとの感染者数の公表を実施してもらすこととなりました。県内ではすでに20万人以上の方が感染しています。終息を願う日々ながら、皆様には引き続き感染対策を十分に取っていただきたいと思います。

県としましては、今後も引き続

健所業務のひつ迫回避と県民の命と健康を守る取組みをしっかりと進めてまいります。

新型コロナウイルス 感染症のワクチン接種 状況と県民に対する 情報発信について

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種後の副反応により発熱や痛みがひどかった方が、3回目や4回目のワクチン接種をためらっているという話を聞きますが、実際はどのような状況になつているのか、健康福祉部長にお伺いいたします。

また、感染者が多くなっている11歳以下及び12歳以上20歳未満（若年層）のワクチン接種率はどうようになつているのか、さらに、感染者数はSNSや県のホームページで毎日公表されていますが、その際ワクチンの接種をためらっている方への呼びかけや、感染の分析情報などを発信すべきと考えますが、併せて健康福祉部長にお伺いいたします。

（答弁者）健康福祉部長

村や関係機関と連携しながら力強く推進し、若者が結婚や家庭を持つことに希望を持ち、その希望が叶うよう、しっかりと取り組んでまいります。

県が目標に掲げる イノシシの捕獲頭数 増加に向けた取組みと 処分の支援について

（1）イノシシ管理計画の目標達成に
向けた取組みについて

県は、市町村境界をまたいでイノシシの広域捕獲を実施するため、県イノシシ管理計画を一部変更し、本年度、生息密度などに関する調査を行うこととなりました。

広域捕獲は、置賜地方の各市町の境界付近で開始する予定で、広域捕獲により山沿いでの捕獲を強化し、増加する農作物被害に歯止めをかけたいとしています。

今年度は、その出没頻度などについて調査結果を基に、各市町や捕獲従事者らと協議し、具体的な実施地域や捕獲目標頭数などを設定するとしています。

農作物の被害は深刻で、このようないたします。

（答弁者）環境エネルギー部長

本県の全人口に対するワクチン接種率は、12月8日時点で、3回目接種は76・6%で全国2位、4回目接種は51・7%で全国3位と、他県と比較しても、引き続き高い接種率で推移しております。

（答弁者）健康福祉部長

11歳以下及び12歳以上20歳未満（若年層）のワクチン接種率はどうようになつているのか、さらに、感染者数はSNSや県のホームページ

ページで毎日公表されていますが、

その際ワクチンの接種をためら

ている方への呼びかけや、感染の

分析情報などを発信すべきと考えますが、併せて健康福祉部長にお

伺いいたします。

（答弁者）健康福祉部長

11歳以下及び12歳以上20歳未満（若年層）のワクチン接種率はどうようになつ